

「次期総合防災情報システム詳細設計・開発業務」調達仕様書案等に対する意見招請結果

番号	項番	ページ	行番号	種別	意見等	理由	修正有無	回答
No. 1	1. 5 (3)	8	23	2	<p>イ 被害状況の早期把握の追及 民間・研究機関等の防災情報提供サービス（以下「外部サービス」という。）と提携可能なクラウド環境を日本国内に構築し、情報の集約・多様化を図ることで、発災初期における災害状況の早期把握を追及する。特に重視すべき事項は以下のとおり。 (ア)商用回線上で公開される外部サービスと連携することで、災害状況の早期把握及び実働省庁（実働班）にとって有用な情報の提供を支援する。</p> <p>【意見】 刻々と変化する災害現場の状況を画像、動画等で撮影し、コメント等の文字を入力することでリアルタイムな情報収集及び時系列な情報管理が可能で、端末のGPS機能を使って瞬時に緯度・経度情報も入手可能なすでに自治体の災害支援システムとして導入実績のあるクラウド型の情報収集可能なシステムの連携を検討ください。</p> <p>仕様書案 (ア)商用回線上で公開される外部サービスと連携することで、災害状況の早期把握及び実働省庁（実働班）にとって有用な情報（現場のリアルタイムな状況報告、時刻、場所）の提供を支援する、すでに防災情報基盤として導入実績のあるシステム・サービスの導入を検討すること</p>	<p>災害情報は刻々と変わる情報を迅速且つ正確に収集しなければ防災情報としての価値が問われ、更に避難等の次の対応に支障を来すことになりかねません。国民の生命を守るべき防災システムに関しては、これらの条件を満たした機能を有するシステムの導入を強く提言致します。 刻々と変化する災害現場の状況を画像、動画等で撮影し、コメント等の文字を入力することでリアルタイムな情報収集及び時系列な情報管理が可能で、端末のGPS機能を活用可能なシステムの導入を検討ください。 (添付資料をご参照ください)</p>	無	ご意見として承りました。仕様は現行の通りとさせていただきます。
No. 2	1. 2. 2	5	表2	4	<p>附属文書として「次期総合防災情報システム要件定義書」が定められております。同要件定義書 5頁 1.2.2にて示された現行システムで利用するデータ量を基に次期システムで利用するデータ量を見積り、設計に反映する旨の記載がありますが、次期システムで利用するデータ量について、追加される予定はございますでしょうか。 また、その場合の想定される最大値の記載を御願います。</p>	<p>本業務の開発規模を把握するため。</p>	無	追加する予定はありません。
No. 3	5. 8. 3 (2)	28	表13	1	<p>附属文書として「次期総合防災情報システム要件定義書」が定められており、同要件定義書 28頁 5.8.3 (2) にてソフトウェア製品の要件の記載があります。その中のOSの仕様について「Windows Server2012 R2 Standard以降」という記載にして頂けないでしょうか。</p>	<p>想定しているソフトウェアが最新OSでの対応になる可能性があるため。</p>	無	要件定義書に記載のある通り、製品の指定はしていません。

注) 1. ご提出頂きましたご意見の「番号」等につきましては、適宜修正させて頂きました。  
2. 「種別」欄の数字は、[1. 要求水準を下げる。 2. 要求水準を上げる。 3. 文章だけを修正する。 4. その他]となります。